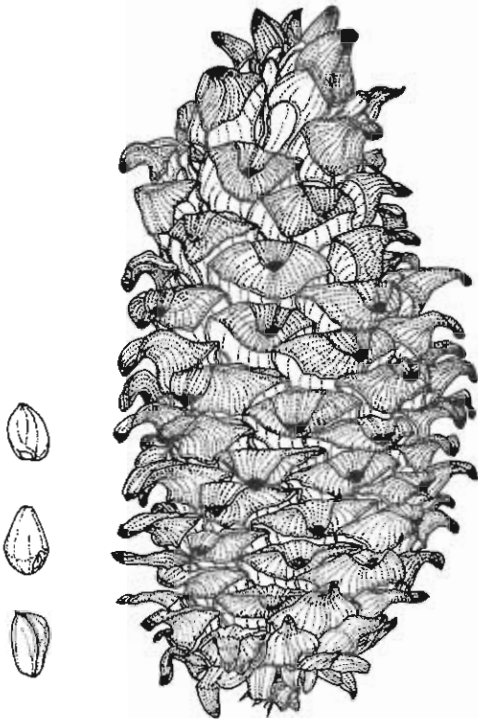


チョウセンゴヨウの球果



知床峠でハイマツの球果を採取して、大きさ・重さ・成熟種子数などを測定し、スケッチして一段落したとき、種子の動物散布を考えた。そして、同じハイマツ類のチョウセンゴヨウの種子のエゾリスによる散布を、Mさんから聞いた。いっそのことと、Sさんから球果を借りて、スケッチした。大きくて、描きごたえがあった。

この球果は長だ円形で、長さが15 cm、直径が6 cm、気乾重が180 gほどであった。

種鱗は大きく、瓦状に重なり、先端部が反り、内側に2個ずつ種子を抱えていた。種子は無翼で、長さが15 mm、気乾重が0.6 g、種皮厚が0.9 mmほどであった。

(自然保護科 斎藤新一郎)